



町HPはこちらから
YouTubeでも配信中

いいまち 議会だより

いちゃん
2号店

コロナ感染対策 万全に

第92号 令和3年1月15日

発行：長野県飯島町議会

スケートボードランブ体験会
写真／広報委員会

P3

議会だよりモニターのひとつと
あれどうなった
議会のハテナ?

P4

12月定例会
条例・補正予算審議

P5

町議選 なり手不足解消なるか

P6

総務産業分科会
利用者増で千人塚浄化槽設備入れ替え

P7

総務産業委員会
陳情審査・現場視察



P8～9

社会文教分科会・委員会
広瀬医師の遺志金を福祉基金へ

P10

特別委員会
コロナ感染対策を万全に

P11

本会議
表決結果

P12

臨時会
「くらし復興券」第2弾発行決定

P24

町民の声を議会へ
「上伊那岳風会」
詩吟に親しみ体験を!



町政を問う

ここが聞きたい

11 議員が質問

中村 明美

与田切歩道橋

いつ渡れるか P13

久保島 巖

太陽光発電

指定避難所に設置補助を P14

本 多 昇

柏木運動場

周辺整備構想の進捗状況は P15

滝本登喜子

新しい生活様式

イベントなどの今後は P16

橋場 みどり

フレイル予防

重要な取り組みだが P17

竹澤 秀幸

若者主体の祭り

新イベントへ支援を P18

坂本 紀子

介護報酬

コロナ禍で支援を P19

三浦寿美子

新型コロナ対策

自治会へ説明不備では P20

折 山 誠

音楽村構想

企業撤退でどう進めるか P21

浜 田 稔

コロナ禍拡大

町の認識と対応は P22

好村 拓洋

第三者事業承継

どう取り組むか P23

「一般質問」とは
行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

議会だよりモニター のひとこと

第91号 広報紙面に対するご意見

- 「もくじ」の表記がない。やや見にくい(配色が)。顔写真がない方がすっきりして良かった。
- QRコードは表紙にも記載されているので不要ではないか。
- 目次に写真の掲載は必要ないように思います。
- 文章 濃淡の差が小さいような気がする。
- 補正をめぐり激論とあるが、もう1ページくらい使いその内容を表示してもよいのではないか。
- 裏表紙のセンター印が90号から付いたが91号は忘れられている。
- P16のオープンラボ、挿絵なのか、写真なのか、それとも「オープンラボ」なるものの説明なのか。
- P16オストメイトトイレって何ですか。
- 決算評価の数字が大きく見やすかった。グラフや表も分かりやすく見やすかった。

その他のご意見・感想

- 表紙のQRコードに「何」のコードなのか記した方が良い。
- 写真/広報委員会の下に2ページの「ハウオリフラ プアケニケニ」練習風景を連記した方が良い。
- 「追跡あれどうなった」「議会のはてな」は、目につき内容がわかる。
文字ばかりだと読むことになれていないと難しいが、イラストや写真等がたくさん入っている。
目の情報が多く眼にとまった。
- 「町民の声を議会へ」裏表紙にて掲載されているこのコーナーは意外と町民が知らない内容で、はじめて知った。『こんな団体が活躍しているのだ』と、とても好評です。
- 各議員の質問に対して「検討中・研究中」などの答えが多いと感じる。
これからも「あれどうなった」は重視していきたい。

追跡あれどうなった

予算審査・全員協議会 その後のゆくえ

令和2年9月 予算特別委員会

内容 定額給付金10万円の支給対象にならなかった、新生児への給付を

令和2年10月 全員協議会

内容 くらし復興券発行事業の第2弾を

その後

令和2年11月 臨時会

- * 新生児特別応援給付金 1人10万円
で総額450万円支給決定
- * くらし復興券発行1億円事業第2弾
総額1億160万円発行決定

議会のハテナ？

もうすぐ町議選〈最終回〉



コロナ禍に負けない町へ

条例・補正予算審議

12月定例会は12月3日から15日までの13日間開催されました。人事案件1件、条例改正6件、補正予算案件5件、指定管理案件2件の14件が上程されました。

補正予算は予算特別委員会に審査を付託し、他の案件は初日の本会議にて即決しました。陳情5件は所管の常任委員会に審査を付託しました。また、継続審査になっていた陳情1件の審査と飯島町議会基本条例の改正も審議しました。審査内容と議決結果はP6～11をご覧ください。

人事案件

◇教育委員松崎充恵氏の再任同意

条例審査

◇選挙運動公費負担の条例
詳細はP5の特集記事をご覧ください。

◇延滞金徴収条例の改正
地方税法の改正に伴う用語の改正。

◇国民健康保険条例の改正
軽減判定所得基準の見直し。

◇包括支援センター条例の改正
対象者と担当者の規定を拡大し機能向上を図る。

◇公園条例の改正
千人塚「観光振興施設」の名称を「さくらやま櫻山」に改める。

◇B & G 海洋センター設置条例の改正
千人塚艇庫の有効活用を図るため指定管理に出せるよう改正。

補正予算

一般会計

◇第8号
9066万円増で74億2458万円に

主な財源

・国庫支出金	1342万円
・県支出金	4641万円
・寄付金	620万円
・宝くじ助成	200万円
・臨時財政対策債	2042万円

主な支出

P10をご覧ください。

討論

賛成 町内の若者主導のイベントに、支援補助を付けたことを高く評価する。効果が期待でき、本イベントへつなげられる。

賛成 就学援助費申請期間を、通年に変更したことを評価する。今後とも迅速な対応を求める。

特別会計

◇国民健康保険（第4号）
1784万円増で9億2964万円に

◇後期高齢者医療（第4号）
337万円増で1億5402万円に

◇介護保険（第4号）
342万円増で11億5540万円に

◇下水道事業会計（第3号）
収益的支出 172万円増
資本的収入 206万円増
資本的支出 241万円増

以上4件特別会計補正予算
討論なし



冬の「櫻山」

指定管理者

- ◇与田切公園管理者の指定
一般社団法人アイネットの指定を議決
- ◇千人塚公園管理者の指定
ぼうえんしゃ
紡縁社の指定を議決



中央アルプス国定公園千人塚



桜の名所与田切公園

議会基本条例

飯島町議会の最高規範の議会基本条例の大幅な見直しをおこなうもの。

昨年度当初から始め、11月終了し、改正に至った。

更なる活性化と町民に開かれた議会、信頼される議会の実現に向け本条例の改正をした。

町議選 なり手不足解消なるか

公職選挙法の改正により、町条例が制定され、令和3年3月町議選から大幅に変わる。

供託金

公選法の規定による

- ・町議会議員 15万円
- ・町長（改正なし） 50万円

* 没収点＝町議選は有効投票の1/12の1/10（前々回を例にすると49.15票以上）。

町長選は有効投票の1/10。

公費負担

選挙用自動車（選挙期間のみ）

- ①一般運送契約（車両、燃料、運転手一括契約） 64500円/日
- ②車両レンタル 15800円/日
- ③燃料 7560円/日
- ④運転手 12500円/日
- * 候補者1人につき①のみか②③④の公費負担。①はハイヤー方式で、②③④は個別の契約。

ビラ 7.51円/枚

デザイン料、撮影料含む

単価、枚数は公選法準拠

- ・町議選 1600枚
- ・町長選 5000枚

* 選挙用ビラとは、選挙期間中に配布できるビラで、立候補や投票依頼が表記できる。選挙前に配布する政治活動ビラは、公費負担の対象ではなく、立候補や投票依頼の表記はできないので注意。

ポスター 1059円/枚

デザイン料、撮影料含む

町議選・町長選ともに 55枚
掲示板54カ所分
事前審査用1枚

手続き

一般運送契約、車両レンタル、運転手

- ①候補者と業者の契約
- ②候補者→選管に届出
- ③候補者→業者へ使用証明書
- ④業者→町に請求
- ⑤町→業者に支払い

燃料、ビラ作製、ポスター作製

- ①候補者と業者の契約
- ②候補者→選管へ届出
- ③候補者→選管に確認申請書
- ④選管→候補者に確認書
ビラ、ポスター数などを選管が確認
- ⑤候補者→業者に確認書
- ⑥候補者→業者に使用・作成証明書の提出
- ⑦業者→町に請求
- ⑧町→業者に支払い
- * いずれも業者に直接支払われるので、注意が必要。候補者の立替払いの領収書では、支払われることはない。
- * 届出書、申請書の提出のタイミングは告示日

町議会議員選挙日程

- ・2月12日(予定) 立候補者説明会
- ・3月 6日(予定) 届出書事前審査
- ・3月16日 告示
- ・3月21日 選挙日

利用者増で千人塚浄化槽設備入れ替え

12月定例会上程の、令和2年度各会計補正予算の分科会付託分を質疑しました。

主 な 質 疑

一 般 会 計

◇総務課

問 高度情報化基金3000万円積立の理由は。

答 パソコンは平成21年、サーバーは平成26年から使用している。

システム更新を予定していて、億単位の支出が見込まれる。

問 町議会議員選挙費 589 万円は何人分を想定しているか。

答 立候補者15人を想定。

◇地域創造課

問 定住促進事業の400万円の内訳は。

答 空き家改修費補助 2 軒分と家財処分費 6 軒分。

問 観光戦略会議委員の報償金が増えた理由と役員構成は。

答 役員とアドバイザーが増え、会議数も増えた。

役員は、会長1人・副会長2人・アドバイザー1人。

問 観光施設管理費1417万円の内容は。

答 千人塚センターハウストイレの浄化槽改修工事で1346万円。

他に、防犯カメラの設置・台所周辺設備改善・パラソルの修繕など。

問 浄化槽の容量は、利用者増を見越した改修となるのか。

答 利用者が増え、シャワー需要も増えた。業者と相談し、128人槽から150人槽に入れ替える。

意見 合併浄化槽は、バイオトイレの研究もしてほしい。

問 防犯カメラの操作はどこで行うのか。

答 管理者がパソコンで行う。

問 パラソルの修繕内容は。

答 設置から3年が経過し、出し入れや台風のため破損した。

◇産業振興課

問 農業振興費の機構集積協力金交付事業80万円の内容は。

答 中間管理機構に貸し出した、田切の農地2カ所分を国に返還するため。

問 信州の森林づくり事業74万円の内容は。

答 芝宮神社西の七久保区有林の間伐事業。

問 商工業振興費325万円の内容は。

答 町振興資金融資額の上乗せの増額・追加融資・未来応援事業に5件ほど申請が見込まれるため。

問 県・市町村連携新型コロナ拡大防止協力金確定の件数は。

答 34件。

◇建設水道課

問 長野県宅地耐震化推進事業700万円の内容は。

答 場所は久根平工業団地。過去盛土をした所で3000㎡以上、または20度以上の傾斜地に5m以上の盛土をした箇所が該当。

ボーリングを行い、安全性を調査する。

問 林業施設災害復旧工事1720万円の内容は。

答 7月の豪雨で陣馬形線が大きく崩れた。道を付け直す。

特 別 会 計

◇下水道事業会計

問 下水道の負担金68万8000円は高い。将来の考えは。

答 過去に支払った方との不均衡もあるが、今後精査したい。



利用者が増えた千人塚公園

陳情審査

採 択

◇「最低制限価格」の設定を求める

提出者：一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長
土屋 長命 氏
参考人：上伊那支部長
宮下 治 氏

賛成5 反対0

◆**内容** 県では平成21年10月1日より失格基準価格が設定された。建築物の設計・工事監理業務などを入札により発注する場合は「最低制限価格」を発注予定額の90%以上にするを求める。

討 論

賛成 建物の安全性確保のために「最低制限価格」は必要である。また、適正な報酬による設計監理業務を実施しなければ、次世代の技術者の育成もできない。

採 択

◇国土交通省「告示第98号」に基づいた算定が行われるよう求める

提出者：一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長
土屋 長命 氏
参考人：上伊那支部長
宮下 治 氏

賛成5 反対0

◆**内容** 適正な建築設計・工事監理による建築物の安全性の確保を図るため、業務報酬基準は告示に基づく算定を求める。

討 論

賛成 安全・安心な社会インフラ確保のため、必要である。

採 択

◇耐震診断・耐震改修は「告示98号」に基づいた算定を求める

提出者：一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長
土屋 長命 氏
参考人：上伊那支部長
宮下 治 氏

賛成5 反対0

◆**内容** 今までの耐震診断は建築確認申請が必要であり、時間のかかる作業の割には、報酬が低かった。改正に基づいた算定を求める。

討 論

賛成 東日本大震災の状況を踏まえ、耐震化を進めるため必要である。

現場視察

安全・安心を第一に！

建設中の広域農道歩道、与田切橋から公園入り口までの作業現場を視察。

現場監督より進捗状況の説明を受けた。



七久保側も早期完成を

7月の豪雨で崩れた陣場形線、日曾利から車で登って20分の災害現場を視察した。

沢筋に沿って道が崩落しており、早い復旧が望まれる。また、下流への対策の必要性を感じた。



崩落現場

広瀬医師の遺志金を福祉基金へ

12月定例会上程の令和2年度各会計補正予算の分科会付託分を質疑しました。

補足
説明

一般会計

◇健康福祉課

寄付金収入のうち、地域福祉基金100万円は、広瀬元七久保診療所医師の遺志金。

保健センターの滅菌機の更新を予定。年度内の納品が困難なため、新年度予算に計上したい。

保健医療分野の財源として活用したい。

主な質疑

◇住民税務課

問 賦課徴収費の還付金・加算金の内容は。

答 過年度更生申告の実績と、令和2年度の10～3月分還付の試算の結果、約140万円の補正を見込んだ。

◇健康福祉課

問 引きこもりサポーターの現状は。

答 現在21人が登録。活動しているサポーターは2人いる。支援を受けている人も2人だ。

問 サポーターの効果と実績は。

答 サポートの成果で、1人は、支援センターやすらぎへ徐々に1人でも通えるようになった。

もう1人は、障がい者雇用で就労できるようになった。

問 障がい者福祉サービス給付費の3300万円は多額だが。

答 障がい者の日常生活維持に

必要な予算。給付費はサービス内容で異なる。必要額が不足すればその都度補正対応する。

問 インフルエンザ予防接種の増額は、高齢者の接種が増えているためか。

答 例年64%前後の接種率だが、11月までに80%を見込んでいる。

◇教育委員会

問 未来塾の予算の減額理由は。

答 コミュニティスクールが学校保険の適用となった。

問 夢の教室の減額理由は。

答 新型コロナの影響で講師の派遣が困難になった。オンラインでの提案もあったが、一流選手に接することで得るものが大きいと判断し中止とした。

問 中学校の産廃運搬委託料の増額理由は。

答 新型コロナ関連。密を避けるため、空き教室の活用が必要で、不用物品の処分費用。

問 就学援助支援費の増額は、

新型コロナの影響か。

答 影響はないと思う。

本年度は、児童・生徒の11%で例年並み。学年別変動はある。

例年2回の申請受付を新型コロナの影響を考慮し、通年受付とした。見込みが立てづらく、今回の補正となった。

特別会計

◇国民健康保険

問 諸収入で延滞金を増額した理由は。

答 上半期の納入実績。

◇後期高齢者医療

問 一般会計からの繰入金減額の内容は。

答 実績による額の確定があった。

◇介護保険

問 「災害時臨時特例補助金及び保険者努力支援交付金」の内容は。

答 補助金は、新型コロナ関連の国庫補助金の受け皿と、交付金は新設で、国から交付決定された額を補正するもの。



お世話になった七久保診療所

陳情審査

不 採 択

◇安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守る
提出者：地域医療と公立・公的病院を守る長野県連絡会・長野県保険医協会 会長 宮沢裕夫氏 他 7 団体
参考人：県医労連 伊壺一輝 氏

賛成 1 反対 4

◆内容 国に対し「新たな感染症拡大などに対応できる医療・介護・福祉への十分な財源確保」「安全・安心の医療・介護を提供する体制確保」「保健所の公衆衛生行政の拡充と検疫体制などの強化拡充」「社会保障に関わる国民負担軽減」を求める。

討 論

反対 国に大きな財政負担と国民の負担軽減を求めるもの。どちらも財源は税金。今は、痛みを分かち合い、助け合うことが求められている。負担軽減のみを求める陳情に賛同できない。

賛成 医療関係者の犠牲の上に成り立っているのが現状。

具合が悪くても窓口負担がでず、手遅れで亡くなる事例もある。多くの患者を救いたいという気持ちが理解できる。

反対 今、医療体制の改善を求めても、時間的に間に合わない。公立病院の統廃合もやむを得ない時期に来ている。現状では難しい。

8 団体合同の陳情に無理がある。

不 採 択

◇国に対して「すべての医療機関・介護事業所への緊急財政支援を求める意見書」の提出を求める

提出者：上伊那社会保障推進協議会 代表者 小林伸陽 氏
参考人：上伊那社保協 事務局長 唐澤一夫 氏

賛成 1 反対 4

◆内容 新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、医療・介護事業所などから、減収に対する財政支援が求められている。

緊急融資だけでは、一時しのぎで借金となり、経営破綻に陥る状況がある。

国に「すべての医療機関・介護事業所への緊急財政支援を求める意見書」の提出を求める。

討 論

賛成 身近な昭和伊南・伊那中央病院は、コロナ禍で患者減のため収入が減少。厳しい環境下での経営を余儀なくされている。

医療機関や介護・福祉事業所を守っていくためには、直接的な財政支援が必要。

社会文教委員会協議会 12/9

教育委員会から「病児・病後児保育設置について」の設置に向けた現状報告を受けた。

出席者：教育次長・健康福祉課長・社会文教委員

◆報告内容 町内に病児・病後児保育を設置した場合の、近隣市町村の利用希望アンケートの結果

- ・宮田村 6 %
- ・松川町 40 %
- ・中川村 50 %
- ・飯島町 70 %

※駒ヶ根は施設があり実施せず

県審査会へ上程中で、補助の

上限は3800万円。

国・県・町の負担割合は事業費の各1/3。町負担額は上限1100万円。

工事見積総額は4700万円。

近隣市町村の負担は2万円/回で、他市町村と合わせる必要がある。

◆意見・要望

- ・工事費の見積もりは、規模からみて高額。精査が必要では。
- ・駒ヶ根で実施しており、サービス内容の充実が求められる。
- ・運営収支など責任の明確化を。
- ・継続した運営が求められる。

コロナ感染対策万全に

予算特別委員会は、総務産業・社会文教の2つの分科会を設け各所管事務の審査を求め、分科会主査報告に対する質疑のあと、理事者への総括質疑・討論を行いました。

結果、それぞれ付託された補正予算5議案全てを可決すべきものと決定しました。

予算特別委員会

令和2年度一般会計予算 (第8号)

主な財源

P4をご覧ください。

主な支出

高度情報化基金	3000万円
議員選挙公費負担	589万円
空き家改修費	400万円
ふるさと納税積立	500万円
ふるさと納税返礼品	135万円
障がい者福祉給付費	3496万円
飯島保育園遊具	221万円
予防接種など	246万円
民有林整備事業補助など	161万円
千人塚センターハウス	
浄化槽工事など	1417万円
商業未来応援補助	325万円
大規模土地変動予測調査など	700万円
与田切公園案内看板	139万円
融雪剤	180万円
飯島小滑り台工事	180万円
七小避難階段修繕	109万円
林道災害復旧事業	1720万円
予備費	▲5058万円



浄化槽を大型化に！

総括質疑

問 2回目発行の「くらし復興券」は、県の補助により財源組み替えとなった。使う予定であったものを有効に、他の使い道を考えているか。

町長 国の1次・2次補正をまとめているが、3次もあると思うので今後考える。

問 成人式は、当初予定の8月が延期となり、1月と決定したがまた延期となった。経過は。

教育長 成人式実行委員会の要望で5月となり、それが難しければ8月に2年分を分けて行う予定である。

問 他市町村では、成人式出席者にPCR検査の補助をして実施するところがある。

町の考えは。

町長 PCR検査の補助は、帰省の関係もあり、他市町村の状況をみて、今後示したい。

問 町内の店が、コロナウイルス感染により休業した際の、見舞金の支給を提案するが。

町長 国の今後の補正を見て適切に行うが、町独自のものも検討する。

問 医療・介護施設従事者のPCR検査の補助の考えは。

町長 国の補正を見て検討する。

問 高齢者施設や医療施設の利用者だけでなく、事業者にも補助が必要になるが、どうか。

町長 状況によっては支援も考える。

討論

令和2年度一般会計予算 (第8号)

賛成 就学援助給付は年2回であったのを随時にと改善したことを評価する。

- ・国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)
- ・介護保険特別会計補正予算(第4号)
- ・水道事業会計補正予算(第3号)

以上4件特別会計補正予算
討論なし

12月定例会 本会議表決結果

人事・条例など

※議案の採決は、堀内議長を除く11人で行います。

議案名	議決日	注 記	賛成	反対	審議結果
教育委員会委員の任命	即 決	任期満了に伴い、1名の再任	11	0	原案可決
議会議員及び町長選挙における公費負担に関する条例	即 決	公職選挙法の一部改正による	11	0	原案可決
税外収入金の延滞金徴収条例の一部改正	即 決	地方税法の改正による	11	0	原案可決
国民健康保険税条例の一部改正	即 決	地方税法施行令の一部改正による	11	0	原案可決
地域包括支援センター条例の一部改正	即 決	機能拡大のため改正	11	0	原案可決
公園条例の一部改正	即 決	千人塚観光施設名称決定による	11	0	原案可決
B&G海洋センター設置条例の一部改正	即 決	指定管理者による管理	11	0	原案可決
町公園条例に基づく千人塚公園指定管理者の指定	即 決	1者の選定	11	0	原案可決
町公園条例に基づく与田切公園の指定管理者の指定	即 決	1者の選定	11	0	原案可決

発議

町議会基本条例の一部改正	即 決	議会活性化を図るため	11	0	原案可決
--------------	-----	------------	----	---	------

令和2年度補正予算

一般会計(第8号)	最終日	予算特別委員会審査(P10)	11	0	原案可決
国民健康保険特別会計(第4号)	最終日	予算特別委員会審査(P10)	11	0	原案可決
後期高齢者医療特別会計(第4号)	最終日	予算特別委員会審査(P10)	11	0	原案可決
介護保険特別会計(第4号)	最終日	予算特別委員会審査(P10)	11	0	原案可決
下水道事業会計(第3号)	最終日	予算特別委員会審査(P10)	11	0	原案可決

請願・陳情審査決議

安全・安心の医療・介護の実現と国民の命と健康を守るための陳情	最終日	社会文教委員会(P9)	4	7	不採択
国に対し「すべての医療機関・介護事業所の支援を求める意見書」提出を求める陳情	最終日	社会文教委員会(P9)	7	4	採 択
最低制限価格の設定に関する陳情	最終日	総務産業委員会(P7)	11	0	採 択
国交省告示第98号の履行に関する陳情	最終日	総務産業委員会(P7)	11	0	採 択
耐震診断・耐震改修に関する陳情	最終日	総務産業委員会(P7)	11	0	採 択
飯島町議会改革について(※9月議会継続審査案件)	最終日	議会運営委員会(P12)	11	0	趣旨採択

※注 郵送による陳情は基本的に議案にならず文書配布されます

意見書の提出決議

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守ることを求める	最終日	三浦寿美子 提出	8	3	採 択
すべての医療機関・介護事業所への緊急財政支援を求める	最終日	三浦寿美子 提出	8	3	採 択
国土強靱化対策の推進を求める	最終日	好村 拓洋 提出	11	0	採 択

賛否が分かれた議案の表決結果

○は賛成 ●は反対

議案名	滝本登喜子	三浦寿美子	久保島 巖	中村 明美	橋場みどり	好村 拓洋	折山 誠	坂本 紀子	浜田 稔	本多 昇	竹澤 秀幸	堀内 克美	審議結果
安全・安心の医療・介護の実現と国民の命と健康を守るための陳情	●	○	●	●	●	○	●	○	○	●	●	／	不採択
国に対し全ての医療機関・介護事業所の支援を求める意見書提出を求める陳情	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	／	採 択
安全・安心の医療・介護の実現と国民の命と健康を守るための意見書	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	／	採 択
すべての医療機関・介護事業所への緊急財政支援を求める意見書	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	／	採 択

※議案の採決は議長を除く11人で行います。

「くらし復興券」第2弾発行決定

第6回臨時会 11/16

令和2年第6回臨時会に提出された案件は、条例案件2件・補正予算案件6件の計8議案を審議し、全会一致で可決しました。

条例改正

◇特別職の職員等の給与に関する条例の一部改正

◇一般職の職員等の給与に関する条例の一部改正

◆**内容** 令和2年人事院勧告等に基づき改正、期末手当支給月数を引き下げる。

補正予算

一般会計（第7号）

1億300万円を増額し、総額73億3392万円に

主な財源

財政調整基金繰入 5600万円
諸収入 4700万円

主な支出

くらし復興券第2弾発行 1億162万円
新生児特別応援給付金 450万円
期末手当減額 △204万円



赤ちゃんもコロナと戦ってます

質疑

問 財政調整基金の残高はいくらになるか。

答 9億5000万円になる。

問 基金取り崩した後、地方創生第3次分が確定した場合はどうするか。

答 今後、3次が出た場合は、交付の要綱・要領を確認し、元の10億円に戻すことも考えている。

問 前回のくらし復興券は農業者・タクシー業者にはメリットがなかったが。

答 今回は、秋の収穫期であり農業者にも動きがあるのではないかと。

前回、登録したが利用されなかった事業者は4分の1あった。

今回は、広い範囲で利用できることを周知し、PRに努める。

特別会計

期末手当減額による補正

国民健康保険（第3号）

2万円を減額して、総額9億1108万円に

後期高齢者医療（第3号）

2万円を減額して、総額1億5065万円に

介護保険（第3号）

6万円を減額して、総額11億5197万円に

水道事業会計（第3号）

3万円を減額して、支出総額を4億9048万円に

下水道事業会計（第2号）

6万円を減額して、支出総額を9億5961万円に

以上5件特別会計補正予算
質疑なし

議会運営委員会

趣旨採択

賛成 4 反対 0

9月定例会にて、継続審査となっていた「飯島町議会改革について」の陳情を、委員会を開催し審査しました。

提出者：飯島町四区連絡協議会
代表 七久保区長 野原正明 氏

◆**内容** ①町議会の活性化 ②定数2削減 ③55歳以下報酬増

の3項目を令和3年3月までに見直すこと。

討論

趣旨採択 改選後に継続審査の持ち越しができない。

趣旨採択とし、最重要課題として取り組むよう、次期議会に申し送りすることが良い。



中村 明美

与田切 歩道橋

いつ 渡れるか

今年度中に 町長

問 広域農道の与田切歩道橋は、いまだに通行禁止で、住民から「いつになったら渡れるのか」との声がある。

計画は、柏木信号から岩間北信号まで、令和3年度完成予定だが遅れている。

通学路としての重要性を県に強く訴えてきたのか。遅れた理由と今後の計画は。

町長 遅れた理由は、ここ数年国の補助金が見つからないためと県から聞いている。

歩道橋は現在、橋の北側の掘削工事を行い、歩道の設置をしている。本年度中に歩道橋は渡



今年度内に渡れる歩道橋

れるようになる。

全面完成する時期は、1～2年遅れると県から聞いているが、今後も強く要望していく。

SDGsの推進状況は

問 職員を対象に行った講習会の反応は。

町長 参加者アンケートでは、『SDGsの言葉しか知らなかったが、研修会で理解が深まった』『自分の仕事の他に広い視野で取り組むことの必要性を学べた』など、全体的に大変有意義だったとの意見が多かった。

全職員が受講できるように継続的に実施したい。

問 今年度の取り組み目標はどうか。また、広報などで住民周知を求めるが。

総務課長 今年度は、策定中の第6次総合計画に盛り込む。

2030年にSDGsの目標達成を念頭に計画策定に取り組む。

策定後は、このことを住民や関係各所など、広報含め周知をしていく。

町長 SDGsの項目を再認識する中で、職員が自分の仕事をするということがまず先決だと思っている。

問 図書館にSDGsコーナーを設け、子どもたちを始め住民の認識を深めることが必要では。

教育長 図書館にSDGsという言葉が入った図書が9冊ある。

早速、玄関正面にSDGsコーナーを設置した。

周知に努めたい。

循環バス

問 利用促進のため、高齢者の運賃を無料化しては。

町長 全国の運賃収入は平均10%程度である。これが標準なので、利用者負担は残したい。現在無料化は考えていない。

問 健康ジム通いや道の駅へ循環バスを利用する人もいる。

復路予約の手配を運転手がしてくれている。このような、活用・利点の周知で、住民の身近な循環バスへと誘導しては。

町長 活用法など今後検討する。

飯島保育園駐車場

問 町は現状に危機感が薄すぎる。一体いつになったら拡張するのか。

教育長 敷地内で拡張できないか検討したが実現できていない。

町長 長年の懸案事項だ。財政状況もあるが、スピード感を持ってやる必要があると認識している。

〔以上4件質問〕



久保島 巖

太陽光発電

指定避難所に設置補助を 公民館改修補助制度の活用を 町長

問 飯島区の成人大学センター屋根に、経費節減・脱炭素や災害時の電源として、有効な太陽光発電設備を考えている。

補助制度はないのか。

町長 有効と考えるが、指定避難所への補助制度はない。公民館の施設改修補助制度があり、それを活用してもらいたい。

教育次長 公民館の維持管理費で、5万円以上の増改修費は協議するとなっている。概ね1/2ずつ負担だが、協議して決める。

総務課長 太陽光発電は有効なので、早急に検討したい。

ワーケーションの運営

問 「飯島流ワーケーション」の運営主体はどこか。観光戦略会議の役割や他の団体の関わり方はどうか。

町長 当面は町が主導していく。体験ツアーのメニューづくりが重要で、観光戦略会議メンバーの多様性を生かしたい。

数年はトレーラーハウスを拠点に、試験的に実施しながら磨き上げていく。農業塾や農地のやりくりは地区営農組合と農業法人に協力願い、準備を進める。

営業部や観光協会・商工会・農村女性グループなど多くの人に協力してもらい、町ぐるみの事業となるように育てたい。

問 多彩なコーディネーターが必要だ。農政系の正規職員での対応が妥当だが。

町長 コーディネーターが必要と考え、有能な人材を募集したい。現在は地域創造課所属だが、各課と連携を取る。

問 交付金とはいえ国民の血税で無駄は許されない。綿密な採算計画をたて、8433万円という巨額投資の回収ができるように取り組む必要があるが。



ワーケーションランドマーク建設予定地

町長 事業計画では国・県の補助事業を活用しながら、5年後には自立できる事業としている。

千人塚センターハウス建設同様に、町が投資し民間がこれを利用運営し、効果を出していく。

ワーケーションで集客が上がれば、町全域に恩恵が広がると考える。

全国の先進事例とし、農水省の注目を浴び、自民党関係部会にも紹介された。若い人たちの自信につながり、そうした効果も大きいと思う。

いいちゃんバスの今後は

問 いいちゃんバスの無料体験が終了し、課題が見つかったというが、何か。

もっと効率の良い方法があるはずと言う意見も多い。交通弱者対策として、費用比較や他市町村の事例なども参考にし、データに基づく説明が必要だ。

今後の対応は。

総務課長 無料でも利用が進まない路線もあることが課題だ。

利用しやすい運行形態や、タクシー券に振り替えた場合の利用回数も含めた試算をしている。ニーズの把握と公共交通としての目標達成ができるかなど検討

を進めたい。また、他の市町村の取り組みも参考にし、今後の方向性を出していく。

〔以上3件質問〕

柏木運動場

周辺整備構想の進捗状況は

国体計画と併せ検討する 町長



本 多 昇

問 防災拠点施設になっているB & G体育館・柏木運動場に、大型車両が進入できる道路など、周辺整備構想の進捗状況は。

町長 整備する内容・規模・財源や助成金の検討を始めたところだ。

2028年の国民体育大会ホッケーのサブ会場として、協力を要請されており、そのことも含めて協議をしていく。

国体終了後は、サッカーを中心とした多目的な競技ができるよう整備する。

周辺道路も整備構想に合わせて検討していく。

令和3年度予算編成

問 新型コロナウイルスの影響で町税が減収すると考える。

減収額の予測は。

町長 今年度決算見込額に対し、1億3000万円～1億7000万円の減収を予測している。

問 減収分の財源対策は。

町長 厳しい財政状況であるため、国・県の補助事業や交付税措置のある起債の活用など、有利な財源の確保や経常経費の削減などで対応する。

国民健康保険

問 国保支払準備基金1億9800万円の今後の運用方針は。

健康福祉課長 県の保険料統一による税率改正で、被保険者負担が急増した場合、負担軽減に充当。また、保健事業などの統一に伴い、交付金が減額となった場合、町独自で行う保健事業を継続するための経費に充当する。

防犯灯

問 器具不具合による修理費の自治会への補助金は。

建設水道課長 新規設置の補助金制度を参考に、修理も地元負担の軽減となる制度を検討する。

第三者承継マッチング事業

問 地域おこし協力隊を、当初からその者の後継者候補として採用するのか。

産業振興課長 最初から特定の事業者の後継者という形での採用は考えていない。

1～1年半のマッチング期間を設けて、事業承継先を決定していく。

リニア残土

問 リニア残土は有効利用が考えられるが、町から積極的に模索することはないのか。

建設水道課長 有効利用できる場所を模索中だ。

地域から提案があれば積極的に支援する。

〔以上6件質問〕



ホッケーサブ会場になるか？ 柏木運動場



滝本 登喜子

新しい生活様式

イベントなどの今後は 知恵を出して開催を 町長

問 地域活性化・交流や伝統文化・スポーツなどのイベントが、コロナ禍で中止となった。

外に出る機会も減りストレスともなる。イベントなどで交流することは必要なことだが、今後の対応は。

町長 イベントの開催は、関係する事業者・生産者だけでなく町民の活力・活性化につながる。

すべてを中止とするのではなく、感染状況を見ながら3密を避けた開催方法を取り入れる。

新しい取り組みが予定されており、知恵を出し合って開催したい。

問 ドライブスルーの取り組みのなかで、歩くのが困難な人や高齢者などを対象に、自治会公会所に配送し分配する考えは。

地域創造課長 12月に「歩いて来てね」マーケットを開催する予定である。

いいちゃんバスの利用や、道の駅の移動販売車・協力隊の買い物支援事業を利用してほしい。

集会施設への配送は考えていない。

問 友好都市・町内組織との交流や会議などをオンライン（ズーム）などで行う考えは。

地域創造課長 友好都市との交流は、物販販売などオンラインではできにくいものもある。先方の利用環境などもあるので、必要に応じて調整したい。

総務課長 町内でのオンライン会議は予算措置をして準備をしているが、要望が出てきてから手続きをしていく。

問 文化館の新年度の運営は。

施設や人材を生かし、文化館事業活性化のために、町職員の常駐を考えるか。

教育長 当面教育委員会の直営で行う。文化活動の支援ということでは、コーディネーターなどの配置ができるか検討したい。

問 消防団の大会などもほとん

ど中止となった。技術の伝達や訓練は充分に行われたか。

総務課長 各分団で、機関点検や水出し訓練、新入団員の個別指導など、感染症対策をして実施した。

伊南DMO事業

問 「道の駅に外国人向けの案内などを統一して、実施を考える」ということであったが、その後の対応は。

地域創造課長 上伊那DMO長野伊那谷観光局の来年度の取り組みで、インバウンドに向けた環境整備として、多言語対応の改善などを考えている。

無料バス運行の課題

問 いいちゃんバスの停留所には、行きの看板しかなく分かりづらかったが。なぜか。

総務課長 バスの案内看板を設置するには、安全性が確保できるなどの基準があり、運輸局の許可が必要である。バス停を両側に設置することは町の道路事情などにより、難しい。

誤って乗車すると利用者に不便となることがあるが、運転手とコミュニケーションを取り対応したい。

〔以上3件質問〕



フレイル
予防

重要な取り組みだが

先手先手に対応したい 町長



橋場 みどり

問 フレイルとは「虚弱」の意味で、健康な状態と要介護の間に位置する。

健康な状態から直接要介護になることもある。高齢者の場合、必ずフレイルを経て徐々に要介護になると言われている。

厚生労働省は、フレイル検診を導入するとした。健康寿命を延ばすためにはフレイル予防が必要だ。どう捉えているか。

町長 加齢に伴う身体的機能の低下・認知機能の低下など、多様な課題・不安を抱える高齢者も多い。介護予防・フレイル予防・疾病の重症化予防などの効果的な事業の実施は重要になってくると思う。

健康福祉課長 身体的虚弱・精神心理的虚弱性・社会的虚弱性など多面的な問題を抱えやすい。

自立障害・認知症を含む、健康障害を招きやすいハイリスク状態だと認識している。

問 保健事業の位置づけは。

健康福祉課長 高齢者の保健事業・介護予防の一体的実施を基本的な方針と定めている。

要介護状態への移行を予防するため、重点的な取り組みと位置づけている。

問 サルコペニアの対策は。

健康福祉課長 「筋力の低下」で、フレイルにつながってくる。2つの状況は互いに関連し合っている。

保健師・栄養士中心に、訪問相談・指導の個別支援や、高齢者の集いの場で健康教育・相談を受けている。

問 フレイルチェックはどうしているか。

健康福祉課長 毎年1回の健康診断を基にチェックしている。

国保のデータベースを使い予備軍となる人の抽出をし、個別訪問で必要な指導を行っている。

問 オーラルフレイル（口腔ケア）の取り組みは。

健康福祉課長 自治会の健康教室で歯科衛生士・保健師が講座をしている。

昨年、県のオーラルフレイル市町村支援事業に応募した。モデル事業として田切地区の生きがい活動教室で年4回実施した。

口の渇き・むせの軽減や、ケアへの意識の高まりがみられた。

問 フレイルサポーター養成の考えは。

健康福祉課長 高齢者とサポーターの相互向上が期待できるので研究・検討する。

問 フレイル予防は介護予防だけでなく、災害対策にもなる。

コロナ禍で新生活様式の対応もあり、行動にもつながり重要だ。

周知は。

健康福祉課長 70歳を超えたところから注意が必要で、直接伝えることを重視している。

「いちいの会」を中心に集いの場で行っていく。

問 健康寿命を延ばす取り組みは重要だ。町長の考えは。

町長 フレイルを意識し、いろいろなデータを見て、フレイルを理解する中で先手先手と対応したい。

〔以上1件質問〕

指輪っかテスト

サルコペニアの危険度の高まりとともに、様々なリスクが高まっていくことがわかってきています。



指輪っか



指輪っか



指輪っか

低い

サルコペニアの危険度

高い

転倒・骨折
などの
リスク

※「指輪っかテスト」は、東京大学高齢社会総合研究機構が実施した柏スタディをもとに考案されました。
東京大学高齢社会総合研究機構・飯島勝矢：フレイル予防ハンドブックより引用



竹澤 秀幸

若者主体 の祭り

町を代表する 祭りになるよう期待 町長

問 過去に「お陣屋まつり」その後の「お陣屋あんどん市」が開催されてきたが、それぞれの理由で終了となった。

こうした経過もあり、町を挙げてのイベント・祭りの開催が求められている。

最近若者を中心にした実行委員会が立ち上がり、来年の3月にプレイベントを開催する予定だ。

8月に本イベントの開催を計画している。

町として後方支援を求めるが。

町長 「お陣屋あんどん市」が終了して以降、町を代表する祭



かつてのような賑わいを!

りがなく残念である。

今回の祭りには、町内の若者主体の、いろいろな組織が連携して取り組んだ事を嬉しく思う。

町を代表する祭りになるよう支援したい。

地域創造課長 JR飯島駅前中心の開催で、賑わい・経済循環につなげるため、国・県の補助金を受けられるよう支援する。

木質バイオマス発電

問 「信州F・POWERプロジェクト」の木質バイオマス発電が10月15日運転開始した。

町の計画に当然影響があり、規模縮小となるのでは。

町長 この発電所は出力14.5メガワットの長野県のプロジェ

クトで、県内最大規模となる。

年間約14万トンの木質バイオマス燃料を利用して、3万2000世帯に相当する約9500万キロワットアワーが発電できる巨大な施設だ。

これによる影響で、町内での計画は、1万トンのペレット(木材にすると2万トン)となる。

規模縮小となるが、水力発電・バイオマス発電・アグリイノベーション2030・飯島流ワーケーションをサイクル化して、総称「飯島町環境循環ライフ構想」を進めたい。

ほかに、町ゼロカーボン推進施策を質しました。

〔以上3件質問〕



我が国最大級の木質バイオマス発電所：塩尻市

介護報酬

コロナ禍で支援を

公平で有効な支援を検討 町長



坂本 紀子

問 新型コロナ対策で、事業所は感染予防の費用が増加し、営業利益が3割から4割減っている所もあると聞いた。

経営状況を調べているか。

介護報酬の上乗せ特例の内容と注意点は何か。

町長 コロナ感染症拡大防止への対応を評価する観点から、厚生労働省より臨時的に介護報酬を、引き上げることができると通達があった。

健康福祉課長 通所系・短期入所系サービス事業所を対象に、実際より時間区分を引き上げて算定できる。ただし、事前に利用者の同意が得られた場合に限る。

感染対策に係る費用が増加していると聞いているので、県や町の補助制度の周知を行っている。

問 町内に既に実施している所はあるか。利用料の上乗せ分は月にどのくらいか。

健康福祉課長 2件の通所系事業所で実施しているが、詳細は把握してない。

問 調べたところ、負担増は月200円～300円で、利用者の9割だそう。

飯田市は、事業所へ上乗せ分の介護報酬額8100万円を、国のコロナ対応の臨時交付金から出している。

こういったところに、補助金あるいは給付金として事業所にしすべきではないか。

町長の考えは。

健康福祉課長 利用者は負担が増える・事業所は利用者から同意を得ることが難しいなど、この特例措置を見送った所もあると聞いている。

近隣市町村などの情報を聞き、公平で有効な支援を検討したい。

町長 状況を把握しながら適切な対応をしたい。



品薄での高騰と感染症対策で費用が15倍に!!

「地域福祉計画」課題は

問 策定にあたり、実態調査はどのように行なったか。

健康福祉課長 「地域福祉計画」は、全ての人が安心して暮らせるような地域社会の実現を推進するため策定した。

総合計画での住民アンケート

・第5次総合計画の検証・高齢者実態調査など幅広く参考にし進めてきた。

問 独り暮らし・老老介護・その予備軍・障がい者や引きこもりを抱える世帯など、数字だけでなく地域のどこに点在しているかを認識し、政策へつなげているか。

健康福祉課長 そのことはとても重要で必要な事と考える。

生活基盤体制整備事業を中心に、課を越えた連携や各地区とも連携し、事業を進められる体制整備をしたいと、計画に盛り込んでいる。

問 新聞報道にもあった個別支援計画は、この中に盛り込まれているのか。

健康福祉課長 盛り込むよう進めている。

問 支え合いマップは自治会未加入者や外国人などは入っていないが、どうなっているか。

健康福祉課長 地域全体を支えるようなマップになるように、お願いしていく。

問 地域福祉計画と第6次総合計画をリンクさせるのか。

副町長 リンクさせ、効果が発揮できるように策定したい。

〔以上2件質問〕



三浦 寿美子

新型コロナ 対策

自治会へ説明不備では 不備とは考えていない 町長

問 「新型コロナ対策自治会施設整備等補助金」の案内が、9月下旬に自治会長あてに届いた。

11月30日締め切りで、補助額上限50万円。対象例は「空気清浄機やエアコンなど、空調に関わる工事全般等」であった。

35件中29件がエアコン設置を申請。

町は、11月12日付で「適切な利用について」という文書を確定通知に同封、利用者に換気の徹底を求めている。

換気型ではないエアコンでは、コロナ対策にならないので、先に周知すべきであった。

町のミスリードではないか。
町長 ミスリードとは考えていない。どの方法も万全ではなく、感染対策の周知に努める。

問 申請から請求までが、12月31日までの条件。コロナ禍で臨時総会も難しく、計画のなかった事業を短期間では、十分な検討ができず厳しかったと聞いた。

理由は。

地域創造課長 国の第2次の新型コロナ感染防止対策事業を活用したため、スケジュールに制約があった。

問 多くの集会所は、高齢者支え合い拠点施設で町所有だ。

設備は町がすべきではないか。

副町長 町と自治会間で基本協定書を交わしている。

施設の改修・新規備品購入は自治会負担である。

特定外来生物の駆除を

問 町内に、特定外来生物に指定されているアレチウリ・オオキンケイギク・オオハンゴンソウの繁茂が見られる。

また、セイタカアワダチソウは、生態系被害防止外来種リストに入っている。

外来生物は、生きたままの運搬・移動が禁止されている。

認識は。

住民税務課長 増えることで、町の自然環境が汚染され、在来種への影響・アレルギーなど健康被害も心配される。

問 処理の方法は、その場で乾燥してから袋に入れ燃やせるごみとして出す。または、その場で袋に密閉、枯らしてから燃やせるごみとして出す。

栽培は原則禁止で罰則がある。草刈りで刈り残すことは、栽培とみなされる可能性もある。

徹底した駆除が必要だが。

住民税務課長 情報収集と同時に、住民には情報提供してもらいたい。駆除していくことが重要と認識している。

問 未来飛行などで広報しているが、不十分である。

駆除には、住民に特定外来生物の周知が必要。

今後どうするか。

住民税務課長 町主催で、河川美化清掃の時に行っている。

今後も周知と駆除への協力願い・ボランティアの力で駆除作業を進めたい。

〔以上2件質問〕



アレチウリ



オオキンケイギク



オオハンゴンソウ



セイタカアワダチソウ

駆除が必要な特定外来生物

写真：Wikipediaより

音楽村構想

企業撤退でどう進めるか

音楽文化醸成に取り組む 町長



折山 誠

問 石曽根工場用地の、ミヤザワフルート工場建設撤退のうわさが流れているが。

町長 残念だが、工場の建設は中止になった。撤退の通告が町にあった後、町と地元が協力して再考を求めてきた。

最終的には断念するという企業判断となった。

問 8月に生じた撤退騒動は、地元を中心にうわさが広まった。

一方、議会には最近まで何も報告がなかった。

私も関連議案を議決した責任で、うわさに対応すべきであったが、今回はその職責を果たすことができなかった。

議会との信頼関係構築をどのように考えるのか。

町長 今回の騒動は、個人的な言葉、あるいは感情的なことに起因し、突然生じたもの。当初は、水面下で話し合えば解決できるという見込みのもと、地元自治会と共にさまざまな努力を続けてきた。

その間に、町全体にうわさが広がり、議会に伝える機会を逸してしまった。早い時期に議会に相談していれば、もっといい対応ができたのではないかと反省し、おわびする。

問 中核企業の撤退により、町長公約の「音楽村構想」は、今後どのように進めるのか。

町長 構想は、フルートなど、楽器製造企業の町内集積に努める一方で、音楽文化の醸成を目指すもの。

これまで、当町オリジナルの組曲を作ってもらった竹下先生・町営業部の文化部会・町内音楽愛好家が協力し、コンサート開催など活躍している。

そうした人とのつながりの中で、町内の音楽文化は深く醸成されてきている。

ミヤザワフルートの工場建設はかなわなかったが、音楽村構想の心の部分は、これに左右されることなく今後も育まれていくことと思う。

問 音楽村構想は、町内外の音楽関係者や関連産業など、さまざまなジャンルの夢となる可能性がある。

構想実現のため、今後の事後処理は、町と企業の良い関係を維持するよう、穏やかな解決

を強く求めるが。

町長 お互い人間であり、大きな傷を残さないよう解決を目指す。

循環バスの存続を

問 循環バス運行は、極めて大切な福祉施策であり、今後も継続すべきだが。

町長 町の公共交通として運行しているが、利便性増進や他の方法など、多面的に研究している。

ワーケーション

着実な進捗を

問 大金を投じるトレーラーハウス設置は、壮大な構想として専任スタッフを配置すべきでは。

町長 「環境循環ライフ構想」の一環として、町の10年後を展望し実現に努める。

〔以上3件質問〕



撤退の決まった工場用地



浜田 稔

コロナ禍 拡大

町の認識と対応は

県の指導に従う 町長

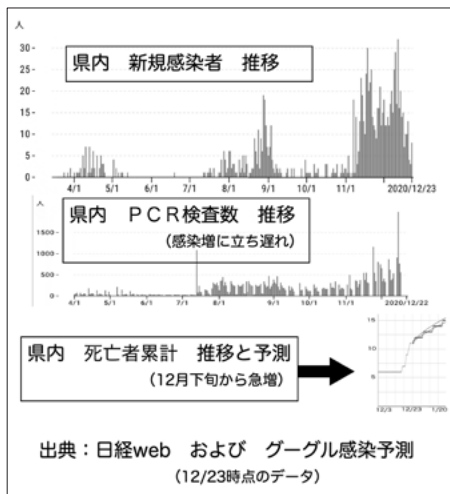
問 県内の感染が急拡大している。町の対応と見通しは。

総務課長 大切なのは、自分たちのできることをきちんと実行することだ。予防ワクチン接種の実施主体は町だが、時期や方法は国の動きを注視する。

問 10月以降、死者の割合は地方でも増えている。長野県の感染者も急増しているが、PCR検査体制は遅れている。グーグルの解析サイトでは県内死者の急増を予測している。

町と県は「GOTOキャンペーン」に反対すべきだが。

町長 町には専門的知識がないので、県の地域振興局や保健所の指示に従う。



〔図1〕遅れの目立つ県の感染対策

トレーラーハウス5台 事業策定の経過は

問 町議会の基本条例は、町の事業提案に対し、策定の経緯・町民参加・財源や将来コストの計算などの開示を求めるよう定めているので説明を求める。

空き家改修ではなく、トレーラーハウス5台を並べる事業を策定した経過は。

町長 国の第2次臨時交付要綱に、コロナ禍での新たな生活様式として、ワーケーション*1事業が上げられていた。100%交付金で賄えれば、町の将来課題を解決する千載一遇のチャンスと捉え、決定した。

トレーラーハウスは物量感・広いステージ・洒落た外観・高級感ある内装などで人気があり、事業を象徴するランドマーク*2となる。

空き家改修では高くつく。

*1 ワーケーション(造語):ワーク＋バケーション 休養地で仕事をする生活スタイル

*2 ランドマーク:地域の象徴的目印



〔図2〕飯島流のランドマーク(想像図)

問 この飯島流ワーケーション事業は『観光戦略会議1期目の申し送り事項』との町長答弁だ。

しかし、まとめの議事録に幅広い意見や提案は記されているものの、トレーラーハウスの文字は無い。

申し送り文書はあるのか。

町長 会議の中から農業は大事だと言う思いを引き継いだ。

問 観光戦略会議では何をどう検討したのか。

町長 飯島町営業部で発掘したまちの魅力を発信・集客し、町全体が儲かる仕組みを作ることが課題になってきた。

観光戦略会議に、体験メニュー作りを依頼する。

ワーケーション事業が有力であるとの判断は町がした。

問 事業規模・実施部署・収支計画は。

町長 最初の数年は、町の所管で集客促進の投資も行う。

試験的な運用で、農業・自然・地域文化の体験メニューを充実する。当初から地区営農組合も参画して、本稼働に向け準備を願いたい。

民間企業がこの事業を利用して利益を出し、集客が増えれば町内全域に恩恵が及ぶ。

〔以上2件質問〕

第三者 事業承継

どう取り組むか

スムーズにできるよう 関係機関と連携

町長



好村 拓洋

問 2017年に、県の後継者バンクの取組みや、日本一創業しやすい県づくり事業の紹介をした。

11月の全員協議会・新聞報道で取組みの発表があったが、協力隊制度も含めどのような検討を経て発表に至ったのか。

町長 町として承継支援策を模索してきた。

協力隊制度の活用は、移住・定住の側面から期待している。

問 事業者に協力隊を配置することへの、法律面や公平性の検討はできているのか。

産業振興課長 協力隊が入ったところは、活動費や報酬が協力隊経費になるので課題だ。

事業者を広く募集し、平等性を持って対応したい。

問 事業承継のどこまで町は関わるのか。取引成立までか。

産業振興課長 できる限り承継が成功できるよう支援したい。

問 後継認定は誰がいつ行うか。

産業振興課長 協力隊の場合は、1～1年半の中で後継事業者を見つけてもらいたい。

事業者側の意向も加味しながら決定したい。

問 今までの検討の中で課題は何と考えているか。

町長 事業承継は、町だけでなく日本社会の喫緊の課題だ。

スムーズな事業承継ができるよう、関係機関と連携したい。

産業振興課長 資産や知的財産の問題など、課題は多いと想定している。

問 取引先などの引継ぎ条件・事業価値の公平性（金額）などを担保する必要がある。

権利関係は、推定相続人にまでの了解を得る必要もある。

町の事業ならば、ここまで行う必要があるのでは。

町長 いろいろな問題が最終的に残る可能性がある。

産業振興課の窓口で専門的に考えてもらいたい。

空き家対策と観光

問 9月一般質問「空き家対策」の検討経過と、ワーケーションを結びつける考えは。

町長 空き家の需要が高まっていると感じている。

ワーケーション事業が走り出す頃には、コロナ対策も進み、

家族や個人対象に町内全域での事業展開もできると考えている。

地域創造課長 高知県ゆすはら梼原町に問合せを実施したが、高知県の補助事業と長野県の事業の制度が違った。

梼原町は、国・県から75%の補助率。当町は国の補助のみの50%となる。

県へ制度の創設を求めることはハードルが高いが、要望していきたい。

問 補助率50%でも十分事業として成り立つと試算するが。

地域創造課長 いろいろ研究したい。

問 ワーケーションでの交流人口増は、間口を広げる政策だ。

最終的に定住に結び付くよう、空き家対策を同時に進めるべきだが考えは。

町長 当面は空き家調査をし、情報提供できるよう物件のリスト化をしたい。

〔以上2件質問〕



飯島流空き家改修



ビフォー・アフター

町民の声を 議会へ

このページは、町民の皆様取材協力をお願いして、町政や議会への意見や感想を掲載しています。

今回は「上伊那岳風会」飯島教室代表 上山隆三さんに、登場していただきます。

詩吟に親しみ体験を!



詩吟のイメージは『漢字が多く難しく理解できない』とのマイナス面をお聞きます。

本当にそうでしょうか？

詩吟は、音楽の楽譜のように難しくなく、簡単な記号で表示されています。また教科書の詩文にはふりがながつけられており、作者・詩の意味が易しく解説されています。

姿勢を正して大きな声でお腹から吟ずるので、肺を強くしストレスを解消します。また結婚祝いの歌などは、冠婚葬祭にも役立ちます。

詩吟は、平安時代の頃に漢詩に節をつけて歌ったのが始まりです。江戸時代や幕末に

は、詩吟の悲壮感のある吟調が武士の気風に合い、大流行をきたしました。

私たちの会は、内閣総理大臣認可公益社団法人「日本詩吟学院」と称する全国組織で、諏訪出身の木村岳風が創設しました。

飯島教室は8年前に、わたくし上山龍岳が、横浜の認可団体から飯島に戻ってきて開始しました。

当初は1人から始めましたが、現在は10人ほどになりました。

イーラの企画で、囲炉裏を囲んで「飯島出身の俳人蓼太と一茶から入る詩吟」を体験して頂きました。

その後はこすも市の舞台や、生協いいじまのデイサービスで詩吟を披露しました。飯島文化祭の芸能祭にも参加してきました。

詩吟のみならず剣舞・扇舞も披露しております。

詩吟は漢詩ばかりでなく、

和歌・俳句・近代詩・俳諧歌など、いろいろな詩に符をつけて吟じております。

例えば飯島出身の俳人太島蓼太・伊那三女の和歌・自分で作った作品に符をつけて楽しんでおります。

現在、白隠禅師の漢詩に挑戦中です。ぜひ皆様が詩吟に親しみ体験し、入会して下さることを希望しております。



町や議会に望むこと

町議会は、町のいろいろな行事に積極的に参加されており、感謝しております。

議会に望むことは、町の悪い所をチェックすることは大切ですが、良い所も見つけて、政策提案もどんどんしてもらいたいと思います。

議会だより

問題

千人塚観光施設の
新しい名称は ○○

ヒントは
4ページに

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈
(締切は2/28、発表は発送をもってかえさせていただきます)



応募要項

住所・氏名・年齢・解答とご意見などをご記入のうえ
ハガキ・FAX・いいちゃんポストで、飯島町
議会事務局 議会だよりクイズ係宛まで

編集後記

人もよう 変わる暮らしの 初日の出
議会の様子が動画配信でもわかります。
「飯島町議会」で検索できます。
今回より、新しいモニターさん登壇です。
共々 よろしく願いいたします。

発行責任者 議長 堀内克美
編集委員 ◎滝本 ○好村
三浦・久保島・坂本・本多